

平成30年度 総合生活学科カリキュラムマップ

【総合生活学科のディプロマポリシー】
 ①生活現象の諸問題を的確に理解し、自ら能動的に問題解決を図ろうとする意欲と実践力を有している。
 ②社会的な自立を目指して、自己の実現可能なキャリアプランに向かって自ら主体的に学習を深める力を有している。
 ③社会・地域・家庭において、豊かなコミュニケーション能力を生かして有為な社会人となるための資質を有している。

【総合生活学科のカリキュラムポリシー】
 ①人間の生活全般に関わる基礎知識・基礎技術を、学科基礎科目として編成しています。そのうち1年次開講の「総合生活論」「基礎ゼミ」は、2年間の学修を有意義なものにするために大学での学び方を基本から身に付ける必修科目とします。さらに衣・食・住、情報、ビジネス等の生活基盤となる15科目を選択科目に指定し、学修基盤の充実を図ります。2年次では、「総合生活演習」を必修とし、学科の専任教員が1年間ゼミ形式で指導することによって学生の専門性の向上に努めます。
 ②総合生活学科の特色ある専門科目として、10科目群を設置しています。科目群は、基礎デザイン・ビューティデザイン・服飾デザイン・住居デザイン・フードデザイン・情報・ビジネス・心理・コミュニケーション・教員・公務員に区分され、人間の生活について総合的に、また学生の興味・関心に応じて探求的に学修できるよう配慮しています。
 ③科目群の選択は、総合生活学科の設置趣旨が活かせるよう、個々の学生が取得を希望する資格、あるいは自らのキャリアプランに応じて自由に、また実践的に学べるよう履修要領を整えています。

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学習成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項 △＝達成のために、望ましい事項)					
		1年次		2年次			①	②	③	④	⑤	⑥
		前期	後期	前期	後期		生活全般に関わる基礎的な知識・技能を身に付ける	コミュニケーション能力を身に付ける	主体的に考え、問題解決を図る	実践力を身に付ける	専門性の向上を図り、資格の取得に資する	キャリアプランに対応して学修を進める
学科基礎科目（必修科目）	総合生活論	○				1.「総合生活論」の理解を深めることができる 2. 図書館利用法及び情報収集方法を学ぶことができる 3. 目標達成のためのキャリアプランを描くことができる 4. 生活全般に関わる諸問題の解決方法を学ぶことができる 5. 総合生活学科での積極的な学習方法を学ぶことができる	◎		○	○		◎
	基礎ゼミ		○			学生が多種の専門的な演習授業を体験することとおして、次のことができるようになることを目標とします。 1. 多様な演習授業の理解を深めることができるようになる 2. 興味のある専門分野を確認することができるようになる 3. 2年次開講「総合生活演習」の適切な分野を選択することができるようになる	○		◎		○	△
	総合生活演習（担当：浅木森 和夫）			○	○	・簡単なウェブプログラミングが実現できる。 ・ウェブページの構造を理解することができる。			◎		○	
	総合生活演習（担当：谷山 澤子）			○	○	英語圏の文化に関する研究を深めるために次のことができるようになることを目標とします。 1. 文化研究の意味が理解できるようになる 2. 研究したいテーマに関する資料の検索や収集ができるようになる 3. 研究成果をレポートにまとめることができるようになる 4. 研究成果を口頭で発表することができるようになる 5. 研究内容に関するディスカッションをとおして、コミュニケーション能力及び創造性を身に付けることができるようになる	○	◎	◎	○	○	△
	総合生活演習（担当：中川 伸子）			○	○	①自ら1年間の課題を設定し、課題の達成に向かって努力することができる。 ②他者と組んで社会調査等ができ、共同研究の成果を出せるようになる。 ③12,000字を超えるレポートを完成することができる。	○	○	◎	○	◎	○
	総合生活演習（担当：長瀬 荘一）			○	○	①心理学の知見を活用して、自分の考えや感情を相手にうまく伝えることができるようになる。 ②人の気持ちや内面を正しく理解して良い人間関係を築けるようになる。 ③集団や組織の中で周りの人と上手にコミュニケーションがとれるようになる。	◎	△	○			
	総合生活演習（担当：林 孝三）			○	○	Adobe PhotoshopとAdobe Illustratorを使って表現したいものを具現化できるようになる。		△	◎	○		
	総合生活演習（担当：福井 愛美）			○	○	①「サービス接客検定」2級及び準1級を取得することができる。 ②取材先に依頼状を作成して、アポイントメントを取ることができる。 ③取材対象者にインタビューすることができる。 ④インタビュー内容を記事として、まとめることができる。 ⑤活動を通して課題の達成ができる。		○	△	○	◎	
	総合生活演習（担当：中尾 美千代）			○	○	①各自が選んだテーマについて、自主的に情報収集の方法を習得し、自ら情報収集ができるようになる。 ②レポートの作成方法を習得し、レポート作成ができるようになる。	△	○	◎	◎	◎	○
	総合生活演習（担当：細見 和子）			○	○	①パンや和菓子・洋菓子作りの歴史や手法を学び、発表ができるようになる。 ②パンや和菓子・洋菓子作りの手順を身に付けることができる。	◎					
	総合生活演習（担当：本保 弘子）			○	○	住宅設計を立体的に検討する手段として、また他者に住宅設計を説明する手段として有効に使える住宅模型を制作できるようになる。			◎	○	○	○
	総合生活演習（担当：古田 貴美子）			○	○	①フォーマルなドレスの型紙を作成することができる。 ②デザインに合った布地・糸・付属品を選択することができる。 ③丁寧に縫製し、美しく仕上げるることができる。	◎		○	◎	△	

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学習成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項 △＝達成のために、望ましい事項)							
		1年次		2年次			①	②	③	④	⑤	⑥		
		前期	後期	前期	後期		生活全般に関わる基礎的な知識・技能を身に付ける	コミュニケーション能力を身に付ける	主体的に考え、問題解決を図る	実践力を身に付ける	専門性の向上を図り、資格の取得に資する	キャリアプランに対応して学修を進める		
学科基礎科目（選択科目）	被服学	○				①被服に関する知識を身に付け、生活に役立てることができる。②状況に応じて美しく快適な服装ができる。	◎		○	◎				
	調理学	○				①調理操作や食品の特性を理解し、理論に基づいた調理ができるようになる。 ②健康を考えたおいしい食事作りが実践できる。	△		◎			◎		
	住居学	○				様々な住居・住環境の課題に対して、自分自身で考える力を身に付けることができる。	○		◎	◎	○		○	
	情報社会論	○				・情報社会の基盤を構成するコンピュータ、コンピュータネットワークについて理解ができる。 ・デジタル情報の本質が理解できる ・情報システムが生活に及ぼす影響について理解できる ・情報倫理やマナーについて理解、実践できる ・明日を生きる情報社会人になることができる	◎		○					
	社会福祉概論				○	1 社会福祉の意義と必要性について理解できるようになる。 2 社会福祉の思想・理念、基本原理について理解できるようになる。 3 社会福祉法制、社会福祉サービス体系について理解できるようになる。 4 社会福祉の援助対象と援助の視点について理解できるようになる。 5 社会福祉と人権・差別問題との関連について理解できるようになる。	◎		△				○	
	家庭経営(家庭経済を含む)	○				①生活を、生活当事者の視点でとらえられるようになる。 ②生活課題を自ら発見し、解決のための行動をとれるようになる。 ③自分が考える「よりよい生活」実現のために行動できるようになる。	◎		○	△				
	健康管理概論			○		15回の授業を通じて、健康管理の意義と方法に関する基礎知識を習得することができる。	◎		○	△				
	環境保全論	○				①地球温暖化問題、ごみ問題等、「環境」をめぐる諸問題について正しい知識を習得・理解できるようになる。 ②そのうえで、身近な環境保全についての実践力(エコライフスタイル)を身に付けることができるようになる。	◎		○	△				
	消費生活論				○	①消費者問題が発生する背景や実態を知る。 ②消費者として自立するために必要な知識・情報を得る。 ③消費者としての確かな目を養い、適確に考え行動できることを目指す。	◎		○	△				
	家族関係				○	①歴史と家族制度、民法と家族関係についての知識を深めることができる。②核家族の概念とその変容を理解できる。 ③親子関係、パートナー関係による家族の機能を考察できる。④家族内役割、家事労働、ライフステージによる家族関係の変化についての考察ができる。⑤家族の諸問題を自分と社会の両方の問題として考察できる。	○	○	◎	△				
	保育学(実習を含む)	○				15回の授業を通じて、親として子どもを守り育てることの意義と方法に関する基礎知識を習得することができる。	◎		○	○				
	被服構成基礎実習	○				①スカートやブラウスの構成を理解し、型紙作成ができる。 ②基本的な洋裁道具を使うことができる。 ③速く正確にミシン縫いができる。	◎		○	◎				
	調理基礎実習	○				①基本的な食品の扱いと調理技術を習得することができる。 ②日本料理、中国料理、西洋料理を取り入れた日常的な食事作りができるようになる。	△	○	○	◎	◎		△	
	住居デザイン基礎実習	○				1. 基礎的な図面表現の技術が修得できる。 2. 設計に必要な室内照度環境とユニバーサルデザインの基礎知識が修得できる。	○		◎	○	○		○	
情報基礎演習				○	・エクセルを使って簡単なデータ処理ができる ・エクセルを使って仕事の効率化ができる ・簡単な統計処理ができる			◎	○			○		

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学習成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項 △＝達成のために、望ましい事項)						
		1年次		2年次			①	②	③	④	⑤	⑥	
		前期	後期	前期	後期		生活全般に関わる基礎的な知識・技能を身に付ける	コミュニケーション能力を身に付ける	主体的に考え、問題解決を図る	実践力を身に付ける	専門性の向上を図り、資格の取得に資する	キャリアプランに対応して学修を進める	
選択科目 (基礎デザイン)	色彩学	○				・色彩の多様な世界に触れ、日常生活の中に生かしていくことができるようになる。 ・色彩検定3級程度の基礎的知識を身に付けることができる。 ・配色について学び、実践的に取り組むことができる。	◎	○		◎	◎		
	造形学	○				①造形作品への知識と理解が深まる。 ②日常生活においても、身近なものに美的関心を持つようになる。	◎	△			○		
	デッサン演習	○				主題の形を正確に描けるようになる。	○	◎	○				
	CG演習Ⅰ(グラフィック)	○				複数の画像処理を学ぶことによって、相手に自分のイメージするデザインを正確に伝えることができるようになる。		△	○	◎			
	CG演習Ⅱ(ビジネス文書)		○			グラフィックソフトを用いてどのような文書がよりわかりやすいのか、理解力と実践力を身に付けることができるようになる。		△	○	◎			
	デザイン論		○			生活全般にかかわっているデザインに関心・興味を持つことができるようになる。	◎	△	○				
	工芸演習		○			15回の授業を通して、工芸がもたらす豊かな付加価値を理解しながら、個性を反映したトルペイント作品を制作することができる。	○		△	◎			
選択科目 (ビジュアルデザイン)	ブライダル・プランナーⅠ	○				日本のブライダルについての基礎知識を理解できるようになる。	◎						
	ブライダル・プランナーⅡ		○			世界のブライダル事情が理解できるようになる。	◎						
	ブライダルコーディネート論			○		①ブライダルの歴史や関連する基礎知識を理解できるようになる ②日本従来のしきたりや文化を理解し、海外との違いや社会情勢との関連を理解できるようになる ③ブライダル業界で求められるコミュニケーションスキルの必要性を理解できるようになる	○	○		○	◎	○	
	ブライダルコーディネート演習				○	①ブライダル知識を体験することでより深く理解できるようになる ②ワークをとおして、企画力・想像力・実践力が身につけることができる	○				○	◎	○
	メイクアップ論	○				① 社会人になるための女性として必要な正しいスキンケア・メイクアップができるようになる。 ② 化粧品の成分やその効果を理解することで、肌にあう化粧品の選び方や肌トラブルを未然に防ぐことができる。 ③ 顔型・顔のプロモーション・パーソナルカラーを習得することで個人の魅力を演出することができるようになる。	○	○		○	◎	△	
	メイクアップ演習		○			① メイクアップ論での内容を実践することで、自己流メイクで理解できていなかった顔のプロモーションやパーツバランス、アンダートーンにあったメイクができるようになる。 ② 技術を向上させることで、第一印象(好感度)をアップさせ印象管理の重要性を理解・表現できる。 ③ メイクセラピー3級、希望で2級の認定資格がとれるようになる。	○	○		◎	◎	△	
	ネイルアート演習Ⅰ	○				①正しいネイルケアの知識と技術を身につける。 ②社会に通用するネイルデザインやカラーを学ぶことで、知的で清潔感のある女性を目指す。		○		◎	◎	△	
	ネイルアート演習Ⅱ		○			①正しいネイルカラーリングの知識と技術を身につける。 ②ネイルアートの技術を身につけることで自己表現につなげる。		○		◎	◎	△	

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学習成果							
		1年次		2年次			(◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項 △＝達成のために、望ましい事項)							
		前期	後期	前期	後期		①	②	③	④	⑤	⑥		
選択科目 (服飾デザイン)	洋裁基礎演習		○			①デザインに合った布地・糸・付属品を選択することができる。②縫製技術を理解し、道具を正しく使用することができる。③ワンピースを美しく仕上げる事ができる。	◎		○	◎				
	パターンメイキング論			○		①衣服がどのようなパーツからできているのか理解できるようになる。②デザイン画、写真、雑誌などを見て製図ができるようになる。③製図に必要な知識を身に付けることができる。	○		○	◎				
	被服材料学			○		①繊維の種類と特徴、糸や布の構造と性質を理解することができる。②被服に要求される性能を考えて、目的に合った被服材料を選択することができる。③アパレル商品の選択に関して、素材と縫製の知識を役立てることができる。	◎		◎	○				
	繊維学実験法			○		①繊維、糸、繊維の実験法を理解することができる。②試料作りの大切さを理解することができる。③実験結果を図表にまとめ、考察することができる。④実験レポートを作成することができる。	○		○	◎	○			
	被服構成実習(洋裁)				○	①平面的な布をどうすれば立体的になるのか、体にフィットするのかが理解できるようになる。②自分ひとりで、最初から最後まで仕上げるにより、達成感などを味わうことができる。③被服製作に必要な知識や技術を身に付け、応用する力や創造性を伸ばすことができる。	○		○	◎				
	被服構成実習(和裁)				○	①平面構成の衣服である着物の特徴を理解することができる。②ゆかたの部位に適した縫い方を理解することができる。③手縫いでゆかたを縫うことができる。	◎		○	◎				
	染色学				○	①繊維によって用いられる染料が異なることを理解することができる。②自然の草木が染料になることを理解することができる。③身近な素材を使って染色することができる。	○		○	◎				
	※染色実習				○	①繊維素材、主に布地への染色技法に関する具体的な知識を得ることができるようになる。②蠟けつ染め、型染めなどの伝統的手法から染色の可能性を理解し色を表現することへの知識を深めることができるようになる。③主に染料を用いて思い描いたとおりの色を出すことや個性のある意匠を表現することができるようになる。	△			◎	○			
	ファッションデザイン論				○	①服飾の変遷を学ぶことで、その時代性と衣服の関係を理解し、デザインの基本論理から衣服におけるデザインと機能について理解を深める事ができる。②学んだ知識をもとに、実生活において活用することができるようになる。	○		○	◎	○		△	
	ファッションビジネス論				○	①ファッションビジネス基礎知識とマーチャンダイジング戦略の認識を習得することができる。②チームで企画を作り上げるにより、コミュニケーション力を高めることができる。	○		○	○	△	◎		
(住居選択デザイン)	住まいの法規		○			住まいに関する法律が、わたしたちの身近な住環境や社会環境に、いかに関わっているかを理解することができます。	△			○	◎		△	
	住まいの施工		○			住まいに関する施工をとらえて、建物をつくるとはどういう事かを「人」「もの」「経済」「環境」といった視点で理解できるようになります。	△			○	◎		△	
	住まいの構法			○		在来構法 木造一戸建住宅の主要な骨組を理解できるようになる。			○		◎		○	
	インテリアコーディネート概論			○		1. インテリアコーディネートの基礎を体系的に理解できるようになる。 2. 住まいのインテリアコーディネートに役立つ知識を得ることができる。	○	○	◎	◎	○		○	

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学習成果					
		1年次		2年次			(◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項 △＝達成のために、望ましい事項)					
		前期	後期	前期	後期		①	②	③	④	⑤	⑥
選択科目 (住居デザイン)	インテリア設計製図		○			インテリア設計製図の基礎的な技法が修得できる。			◎	◎	◎	○
	建築CAD演習		○			①CADの基本操作を習得し、図面作成の基本と2次元、3次元の視点の理解を習得し図面を作成することができる ②作成した図面をプレゼンテーション資料としてまとめることができる ③習得したCADを用いて、自分で家具を設計し、3次元で検討して具現化できるようになる			○	○	◎	○
	インテリアデザイン論			○		インテリアデザインの基礎的事項を体系的に理解できる。		○	◎	◎	◎	○
	住居計画学				○	①住宅の可能性について主体的に考えることができるようになる。			△	○	◎	△
	住宅デザイン実習Ⅰ			○		木造住宅と鉄筋コンクリート住宅 設計製図のための基礎的な技法が修得できる。			◎	○	◎	○
	住宅デザイン実習Ⅱ				○	木造住宅と鉄筋コンクリート住宅の設計を理解し、平面図、配置図、断面図、立面図をかけるようになる。			◎	○	◎	○
	住まいの構造			○		①建築物の構造力学的な安全性に関する基礎的な知識を習得する。 ②住まいの構造を建築設計と絡めて理解できるようになる。	△			○	◎	△
	住まいの材料				○	自分の身の回りを含めて、いままで何気なく見ていた材料にそこに使われている必然性を知り、インテリアの知識を深めることができます。	△			○	◎	△
	宅地建物と法	○				宅地建物に関連する法令の基礎知識を習得できる。		○	◎	○	◎	○
選択科目 (フードデザイン)	製パン・製菓実習	○				実習を通して、パン、洋菓子、和菓子の正しい手法や技術を習得することができる。	◎	○	○	△		
	調理学実習Ⅰ		○			①健康や食の安心安全を前提とした食事作りができるようになる。 ②地域の食材の活用、食文化など多面に渡って食を理解できる。	△	○	○	◎	◎	△
	調理学実習Ⅱ			○		①基本的な調理技術を基に、応用した調理ができるようになる。 ②年代に合った食事作りが実践できるようになる。	△	○	○	◎	◎	△
	栄養学		○			栄養学の知識を身に付け、自分やまわりの人々が健康な生活が実践できるようになる。	◎					
	食品学		○			食品に関する多くの情報から正しい選択ができる能力を身に付けることができる。	◎					

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学習成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項 △＝達成のために、望ましい事項)						
		1年次		2年次			①	②	③	④	⑤	⑥	
		前期	後期	前期	後期		生活全般に関わる基礎的な知識・技能を身に付ける	コミュニケーション能力を身に付ける	主体的に考え、問題解決を図る	実践力を身に付ける	専門性の向上を図り、資格の取得に資する	キャリアプランに対応して学修を進める	
選択科目 (フードデザイン)	食品加工学			○		加工食品の多様化、複雑化に対応できる正しい知識が理解できるようになる。	◎						
	食品学演習			○		食品に関して基本的な品質評価や鑑別方法について理解できるようになる。	◎						
	フードコーディネーター論			○		①フードコーディネーターが食生活に果している役割と価値を理解できる。 ②フードコーディネーター論の基礎知識が習得できる。	○	◎			◎	△	
	ライフステージ栄養学				○	①各年代に応じた栄養の必要性を理解できる。 ②健康維持・病気予防のための食生活管理ができるようになる。	△		○		◎	△	
	食品加工学実習				○	食品の加工内容の多様化、加工技術の複雑化に対応できる正しい知識が身に付くようになる。	◎						
	食品衛生学				○	①授業を通して、「食の安全」がいかに重要かを認識できるようになる。 ②学んだ知識を日常に活かすことができるようになる。 ③フードスペシャリストやフードコーディネーター、消費者の立場で適切な食品衛生管理方法を理解・習得できる。	△		○		◎	△	
	フードスペシャリスト論				○	フードスペシャリストが具備すべき基本知識が習得できる。	○	◎			◎	△	
	食生活論				○	食に関する教養と知識が習得できる。	◎	○	○		◎		
	フードコーディネーターの基礎				○	フードコーディネーターに必要な教養と知識が習得できる。	◎	○	○		◎	△	
	フードコーディネーター実習				○	①基本的なセッティングの約束ごとと、コーディネートアイテムとカラーコーディネートの基礎知識を理解できる。 ②フードコーディネーターとして「おいしいものをよりおいしく食べるための食空間演出」ができるようになる。	△	○	○	◎	◎	◎	
選択科目 (情報)	情報科学Ⅰ		○			・情報処理の基本構造が理解できる ・情報の記憶が理解できる ・情報の加工が理解できる ・簡単なプログラムの作成、実行ができる			○		◎		
	情報科学Ⅱ			○		・同種のデータの効率的な取扱が理解できる ・記憶の指示について理解ができる ・ファイルへのデータの読み書きができる ・情報処理関連国家試験との対照ができる			○		◎		
	生活情報技術		○			・情報社会での技術と生活の関係が理解できる ・ビジネス文書に適した日本語の使用、文書表現ができる ・ワードを使ってビジネス文書を作成することができる				◎		○	
	データベース技術論			○		・データベースとファイルの違いが理解できる ・データベースを設計することができる ・データベースを作成することができる ・データベースを用いて安全にデータを管理することができる				◎		○	

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学習成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項 △＝達成のために、望ましい事項)					
		1年次		2年次			①	②	③	④	⑤	⑥
		前期	後期	前期	後期		生活全般に関わる基礎的な知識・技能を身に付ける	コミュニケーション能力を身に付ける	主体的に考え、問題解決を図る	実践力を身に付ける	専門性の向上を図り、資格の取得に資する	キャリアプランに対応して学修を進める
(選 情 報 目)	コンピュータと情報発信			○		・ウェブページの作成、管理ができる ・ウェブページのデザインの仕方が理解できる ・多様なメディアの特徴を理解し、多様なメディアを利用した情報発信ができる			○	◎		○
	コンピュータネットワーク概論				○	・コンピュータネットワークの仕組みについて理解できる ・社会基盤として、コンピュータネットワークの重要性を理解できる ・コンピュータネットワークを構成できる ・サーバの設定ができる				○	◎	
選 択 科 目 (ビ ジ ネ ス)	秘書ビジネス論	○				①新人として働くための心構えと基本的姿勢を身に付けることができる。 ②組織の一員として働く意義を理解できる。 ③文書実務等の基本業務に関する知識を深めることができる。 ④組織コミュニケーションの意味を理解できる。 ⑤ビジネス活動に関する知識を深めることができる。	○	○	○	○	○	◎
	旅行ビジネス論	○				①旅行ビジネスや旅行商品に関する知識を深めることができる。 ②JR運賃、料金の簡単な計算ができる。 ③標準旅行業約款の知識を深めることができる。 ④世界遺産に関する知識や国内観光資源の知識を深めることができる。 ⑤運輸、宿泊機関での職業に活用できる知識を習得できる。 ⑥国内旅行業務取扱管理者試験の準備ができる。	○		○	○	◎	◎
	観光ビジネス論		○			①海外旅行時の基礎知識を得ることができる。 ②時差・所要時間の計算ができるようになる。 ③運送機関の知識とともに、やや専門的なOAGの見方を習得できる。 ④海外の宿泊機関に関する知識を得ることができる。 ⑤海外の観光地について学ぶことができる。 ⑥簡単な海外旅行プランを作成できる。	○	○	△	◎	◎	◎
	秘書実務Ⅰ		○			1. オフィスワークの基本業務を身に付けることができる。 2. 社会の組織を理解し、働く時の基本姿勢を身に付けることができる。 3. 職場でのコミュニケーション能力の基本を身に付けることができる。		○	△	○	◎	
	秘書実務Ⅰ		○			①組織で働く時の基本的な姿勢を身に付けることができる。 ②オフィスワークの基本業務を身に付けることができる。 ③職場でのコミュニケーション能力の基本を身に付けることができる。	○	○	○	◎	◎	◎
	秘書実務Ⅱ		○			1. 秘書実務Ⅰで学んだ内容を実践できる。 2. 職場でのコミュニケーション力を身に付けることができる。 3. 基本的な社内・社外文書をパソコンで作成することができる。 4. スケジュール管理、出張業務等の実際を身に付けることができる。 5. 来客の対応、電話の対応を身に付けることができる。 6. ビジネス上の敬意表現を熟達できる。		○	△	○	◎	
	秘書実務Ⅱ		○			①直前の「秘書実務Ⅰ」で学んだ内容をすぐに実行できる。 ②職場でのコミュニケーション力を身に付ける。 ③基本的な社内・社外文書をパソコンで作成できる。 ④ビジネスの慶弔業務、出張業務を身に付けることができる。 ⑤来客の対応、電話の対応を身に付けることができる。 ⑥社会人としてのマナーを身に付けることができる。	○	◎	○	◎	◎	◎
	社会調査論			○		15回の授業を通じて、社会調査の意義、手法、サンプリング、データの読み込み方を理解のうえ、まとめのプレゼンテーションができるようになります。	○		◎	○		○
	マーケティング論		○			①商品開発や販売方法などマーケティングの基礎知識を習得することができる。 ②消費者の満足度を高める視点の大切さを把握できる。 ③食品流通の分野におけるマーケティングの役割が理解できる。			○		○	◎
	経営会計実務処理				○	①企業の財務諸表(貸借対照表、損益計算書)に関する基礎知識を理解することができる。 ②企業活動を記録する仕訳の方法を学び、仕訳ができるようになる。 ③決算時特有の修正項目について基本的な考え方を把握できる。	○		△	◎	○	◎
医療事務概論		○			①医療保険制度のしくみや、保険証の見方がわかるようになる。 ②簡単な治療代の算定と保険請求事務ができるようになる。 ③病気について正しく理解できるようになる。	○			○	○	◎	

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学習成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項 △＝達成のために、望ましい事項)							
		1年次		2年次			①	②	③	④	⑤	⑥		
		前期	後期	前期	後期		生活全般に関わる基礎的な知識・技能を身に付ける	コミュニケーション能力を身に付ける	主体的に考え、問題解決を図る	実践力を身に付ける	専門性の向上を図り、資格の取得に資する	キャリアプランに対応して学修を進める		
選択科目(心理)	フードデザイン心理学				○	心の動きを「食の分野」を通して研究し、「食べることの大切さ」を伝えられるようになる。	◎							
	服飾デザイン心理学		○			①対人関係において相手により印象を与える服装を理解することができる。 ②場面にふさわしい服装を選択できる。	○	◎	○	◎				
	ビューティ心理学		○			①人間の美しさの深層心理を理解することで、個人と他者の美に対する違いがわかり個人の内面と相手の内面を正しく理解できるようになる。 ②個人と他者の価値観や五感の感じ方、美しさの心理の違いを理解することで自分自身をうまく伝え、上手にコミュニケーションがとれるようになる。	○		○		△	◎		
	子ども心理学		○			①子どもの心身の発達や、人生全体の発達の流れにおける前後のつながりを理解できるようになる。 ②現代社会における子どもの生活現象の諸問題についての具体をイメージできるようになる。	◎	○	△					
	犯罪心理学		○			① TVや新聞の犯罪報道に対する正確な理解 ② 犯罪捜査に関する専門用語などの理解 ③ 規範意識・遵法精神の醸成	◎		○	△				
	恋愛心理学				○	自分や他者の行動、考え、感情表現などを、心理学的な視点から理解できるようになる。	◎		○	△				
	動物心理学	○				①身近にいる動物達を観察し、その動物達の行動や形態から動物達の価値観を理解できるようになる。 ②人間と動物の関係について理解を深め、動物を一方向的に可愛がるいわゆるペットではなく、ともに生きる伴侶、コンパニオンアニマルとして捉えられるようになる。	◎	○	○	△				
	音楽心理学演習			○		音楽に囲まれて日々の生活を送っていることをあらためて意識することで、今までの嗜好に加え、様々なジャンルの音楽や文化、芸術に興味をもてるようになる。	◎	○		△				
	カウンセリング論				○	①カウンセリングの基本を学び、相手の気持ちや内面を正しく理解できるようになる。 ②自分自身について理解を深め、自分の思いを相手にうまく伝えることができるようになる。	◎	○	○	△				
選択科目(コミュニケーション)	プレゼンテーション概論	○				①プレゼンテーションを学ぶ意義が理解できる。 ②対人コミュニケーションの仕組みや形態に関する知識を深めることができる。 ③プレゼンテーションのための要素を知り、自己分析により自らの弱点を見出すことができる。 ④課題によるプレゼンテーションの構成ができる。 ⑤表現、話し方、非言語表現についての知識を深めることができる。 ⑥発表時のツールやスライドに関する知識を深めることができる。 ⑦与えられた課題について、人前でプレゼンテーションができる。 ⑧アサーション理論やディベートの知識を深めることができる。		◎	○	○	○			
	プレゼンテーション演習 I	○				1. プレゼンテーションツールの種類と特徴を理解し、目的にあったツールを選択することができる。 2. プレゼンテーションに必要な情報収集と時間管理ができる。 3. ノン・バーバルコミュニケーション技法を理解し、活用しながら話すことができる。 4. 身近なテーマで簡単なプレゼンテーションができるようになる。		○		○	◎			
	プレゼンテーション演習 II		○			1. グループディスカッションができるようになる。 2. パワーポイントを使つての資料作成、操作ができるようになる。 3. 自信をもってプレゼンテーションを行い、共感を得ることができるようになる。 4. 学んだことを就職活動や実社会で活用することができる。		○	△	○	◎			
	プロジェクト演習			○		1. 自ら目標を設定することができる。 2. ビジョンを描き、多面的に物事を見ることができる。 3. 情報収集と情報の取捨選択ができる。 4. 自ら課題を見つけて解決することができる。 5. 説得力のあるプレゼンテーションをすることができる。		△	◎	○				
	ビジネスコミュニケーション				○	1. TPOに合わせたコミュニケーションが取れるようになる。 2. 意見交換や会議での意見集約ができるようになる。 3. アサーティブな態度で意見を主張することができる。 4. 効果的な資料作成ができるようになる。 5. 企画・提案のプレゼンテーションができるようになる。		◎	○	○	△			
	日本語表現 I (書く・読む)	○				1. 文章の種類を理解し、名文を読んで感想を述べるができる。 2. 原稿用紙の用法を理解し、推敲・校正の仕方を理解することができる。 3. レポートの書き方を修得することができる。 4. 小論文を書くことができる。		△		○	◎			

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学習成果						
		1年次		2年次			(◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項 △＝達成のために、望ましい事項)						
		前期	後期	前期	後期		①	②	③	④	⑤	⑥	
選択科目 (コミュニケーション)	日本語表現Ⅱ(話す・聞く)			○		1. 日本語の音声表現の基本を理解できる。 2. 誠意をもって話しを聞き、話しを展開させることができる。 3. 要点を押さえて聞き、内容を簡潔にまとめて話すことができる。 4. 大学生活や社会に対応できる正しい敬語表現ができる。		○	△	◎	○		
	ビジネス英語コミュニケーションⅠ			○		1. ビジネスに必要な基礎的な語彙や表現を英語で使うことができるようになる 2. 就職の面接や取引先でのプレゼンテーションなどの、様々なビジネスの状況に応じた基礎的な英語でのコミュニケーションができるようになる 3. ビジネスに必要な履歴書、名刺、ビジネスレター、プレゼンテーションなどの資料を英語で作成できるようになる	○	◎	△	◎	○	△	
	ビジネス英語コミュニケーションⅡ				○	1. ビジネスに必要な語彙や表現を英語で使うことができるようになる 2. 様々なビジネスの状況に対応するための英語のコミュニケーションができるようになる 3. ビジネスに必要なビジネスレター、注文書、詫状などの文書を英語で作成できるようになる	○	◎	△	◎	○	△	
	実践資格英語Ⅰ	○				TOEICテストの得点400～500点程度の獲得をめざし、次のことができるようになることを目標にします。 1.Listening能力を向上させるために、英語表現を聞いて意味がわかるようになる 2.Readingの能力を伸ばすために、英文を多読し意味が即時にわかるようになる 3.英語の語彙を増やし、場面に合った文法が使えるようになる	○	◎	○	○	◎	△	
	実践資格英語Ⅱ		○			TOEICテストの得点500～700点程度の獲得をめざし、次のことができるようになることを目標にします。 1.Listening能力を向上させるために、英語表現を聞いて意味がわかるようになる 2.Readingの能力を伸ばすために、英文を多読し意味が即時にわかるようになる	○	◎	○	○	◎	△	
	中国語コミュニケーションⅠ				○	1.中国語を正しく発音する、聞き取ることができるようになる。 2.基本的な文法規則と語彙を用いた応答表現ができるようになる。 3.中国語の構造や言語的特徴を理解できるようになる。		◎		○	◎	○	
	中国語コミュニケーションⅡ				○	1.中国語を正しく発音する、聞き取ることができるようになる。 2.基本的な文法規則と語彙を用いた応答表現ができるようになる。 3.中国語の構造や言語的特徴を理解できるようになる。		◎		○	◎	○	
選択科目 (教員・公務員)	教育法規	○				・学校教育に関する法令や制度についての基礎的知識を身につけることができる。 ・教育現場の営みが法的な背景をもって行われていることを理解できる。					○	◎	△
	教職原論	○				①学校教員の地位と身分、学校制度、学校の管理運営体制、教育公務員の法令などを正確に理解し、覚える。 ②学校教員の意義と使命を自覚し、公教育を担うにふさわしい資質や態度を修得することができる。			○	△	◎		
	教育原理(教育史及び社会的・制度的又は経営的事項を含む)	○				・「教育」の営みを原理的に理解することができる。 ・「教育」についての研究や実践を進めていく上で必要な教育諸分野の基礎知識を習得することができる。 ・「教育」を歴史的な見地からとらえることができる。			○		◎	△	
	教育心理学		○			①教育心理学の基本用語を理解し、覚える。 ②幼児・児童・生徒の発達や行動を教育心理学的な観点から解釈し、適切な支援と指導ができるようになる。			○	△	◎		
	教育課程論				○	・教育課程の基本用語を理解し、正確に覚えることができる。 ・わが国の教育課程の変遷について理解し、その働きと課題をとらえることができる。 ・生徒の経験内容や発達段階に即して中学校教育課程の基本的考え方や編成の方法を理解することができる。 ・教育課程を具体化する授業の方法を身に付けることができる。			○		◎	△	
	家庭科指導法(中)	○				①学習材の作成と開発ができるようになる。 ②学習指導計画案作成及び模擬授業が実践できる。	△	○	○	△	◎	△	
	道徳指導法				○	・道徳教育を通して、あらゆる教育活動の場で生徒自身が感動を覚えるような魅力的な指導ができる教員としての資質を備えることを目標とします。	△	○	○	△	◎	△	

分類	授業科目名	開講期				授業科目の到達目標	総合生活学科の学習成果						
		1年次		2年次			(◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項 △＝達成のために、望ましい事項)						
		前期	後期	前期	後期		①	②	③	④	⑤	⑥	
選択科目 (教員・公務員)	特別活動指導法			○		<ul style="list-style-type: none"> 特別活動のねらいや意義について理解することができる。 特別活動の指導法を具体的事例などから学び、自分なりの特別活動の展開を構想できる。 特別活動で態度、能力を育成するための指導方法の工夫や改善を考慮することができる。 			○		◎	△	
	教育の方法・技術				○	1. 教育の方法について (1) 教育方法と学習評価の基礎的理論、これからの社会を担う子ども達に求められる資質・能力を理解している。 (2) 授業を構成する学級、子ども、教師、教材等の基礎的要件を理解している。 2. 教育の技術について (1) 話し方、発問、板書など、授業を成立させる基礎的技術を身に付けている。 (2) 指導目標、学習指導過程、教材・教具、学習形態、評価規準等を含めた学習指導案を作成することができる。 3. 情報機器及び教材の活用について (1) 情報機器を活用して教材を作成・提示することができる。 (2) 情報活用能力(情報モラルを含む)を育成する指導法を理解している。			○	○	◎		
	生徒指導論(進路指導を含む)	○				1. 生徒指導の基本用語を理解し、その内容を習得することができる。 2. 生徒指導の考え方と、反社会的・非社会的行動に対応した指導方法を理解できるようになる。 3. カウンセリングマインドを生かした考え方を知り、公教育を担う教員にふさわしい実践と態度を習得できる。		○	△		◎	△	
	教育相談の理論・方法(カウンセリングを含む)				○	① 生徒の発達状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉えることができる。 ② 支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を習得することができる。			◎	△	○		
	教育実習指導				○	① 教育実習に臨む心構えと生徒の実態を踏まえた教育活動の特色を理解することができる。 ② 教科の専門的な知識の向上と基本的な教育技術の基礎の習得に努力することができる。 ③ 学習指導案を作成し、50分間の授業を実践することができる。	○	◎	○	◎	◎	△	
	教育実習				○	○	① 教師に必要な資質や能力を理解し、課題を自覚することができる。 ② 学習指導に必要な話法、板書などの基本的教育技術の習得に努力することができる。 ③ 実地授業では、学習指導案を作成し、授業を実践することができる。 ④ 生徒と接するとき手本となる振る舞いや行動をすることができる。	○	◎	◎	◎	◎	○
	教職実践演習(中)					○	① 教科指導と生徒指導に必要な実践的能力について考えることができる。 ② 教職に係る専門的知識・技能の向上に努力することができる。 ③ 教員としての使命感や責任感また豊かな教育的愛情の必要性を理解することができる。	○	◎	◎	◎	◎	○
	公務員研究1				○	1. 国民・市民に奉仕する公務員職を十分に理解し、知識を深めることができる 2. 公務員採用試験を研究し、準備をすることができる 3. 公務員に必要な豊かな教養を高めることができる						◎	
	公務員研究Ⅱ					○	① 目指している公務員職の職務内容を研究し、知識を深めることができる。 ② 公務員採用試験の教養試験・適性試験などを研究し、準備ができる。 ③ 公務員採用面接試験への準備ができる。	○	○	○	◎		◎

※「総合生活演習」は各担当教員ごとに到達目標を記しています。